

令和4年第4回豊後高田市議会定例会会議録（第1号）

○議事日程〔第1号〕

令和4年12月5日（月曜日）午前10時0分 開会

※開会宣告

※開議宣告

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の決定
- 日程第3 閉会中の委員会付託事件〔第41号議案から第43号議案まで〕について委員長報告
(質疑・討論・表決)
- 日程第4 第45号議案から第62号議案まで及び第6号報告上程
提案理由説明

○本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（16名）

- | | |
|------|---------|
| 1 番 | 於 久 弘 治 |
| 2 番 | 毛 利 洋 子 |
| 3 番 | 中 尾 勉 |
| 4 番 | 黒 田 健 一 |
| 5 番 | 井ノ口 憲 治 |
| 6 番 | 阿 部 輝 之 |
| 7 番 | 土 谷 信 也 |
| 8 番 | 成 重 博 文 |
| 9 番 | 中山田 健 晴 |
| 10 番 | 松 本 博 彰 |
| 11 番 | 河 野 徳 久 |
| 12 番 | 安 東 正 洋 |
| 13 番 | 北 崎 安 行 |
| 14 番 | 河 野 正 春 |
| 15 番 | 菅 健 雄 |
| 16 番 | 大 石 忠 昭 |

○欠席議員（0名）

○職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

事 務 局 長	田 中 良 久
次長兼議事係長	大 塚 栄 彦
総括主幹兼庶務係長	黒 田 祐 子
専 門 員	小 門 敏 宏

○説明のため議場に出席した者の職氏名

市 長	佐々木 敏 夫
副 市 長	堤 隆
市参事兼総務課長	安 田 祐 一
市参事兼財政課長	飯 沼 憲 一
市参事兼建設課長	永 松 史 年
企画情報課長	丸山野 幸 政
地域活力創造課長	小 野 政 文
税 務 課 長	近 藤 直 樹
市民課長	黒 田 敏 信
保 険 年 金 課 長	大久保 正 人
社会福祉課長	田 染 定 利
子育て支援課長	水 江 和 徳
健康推進課長	清 水 栄 二
人権啓発・部落差別解消推進課長	後 藤 史 明
環境課長	尾 形 稔
商工観光課長	河 野 真 一
農業振興課長	川 口 達 也
耕地林業課長	阿 部 博 幸
農業地域支援室長	首 藤 賢 司
都市建築課長	清 水 英 文
上下水道課長	本 田 督 二
地域総務二課長兼水産・地域産業課長	船 木 靖 幸
会計管理者兼会計課長	佐々木 真 治
選挙管理委員会・監査委員事務局長	藤 重 深 雪
農業委員会事務局長	塩 崎 康 弘
消防本部消防長	榎 本 賢 二
教育委員会	
教 育 長	河 野 潔
教育総務課長兼地域総務一課長	
	植 田 克 己
学 校 教 育 課 長	衛 藤 恭 子
総務課 総括主幹兼総務法規係長	
	矢 野 裕 治
主幹兼秘書係長	江 畠 信 之

○議長（土谷信也君） おはようございます。

ただいまの出席議員は16名で、議員全員の出席であります。よって、令和4年第4回豊後高田市議会定例会は成立いたしましたので、開会いたします。

12月5日

この際、諸般の報告をいたします。

お手元に配付いたしました事務報告書のとおりでありますので、ご了承願います。

これより本日の会議を開きます。

市長ほか関係者の出席を求めましたので、ご了承願います。

○議長（土谷信也君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員に、14番、河野正春君及び15番、菅 健雄君を指名いたします。

○議長（土谷信也君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から12月20日までの16日間といたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土谷信也君） ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から12月20日までの16日間と決定いたしました。

なお、会期中の会議予定は、お手元に配付しております会議予定表のとおりであります。

○議長（土谷信也君） 日程第3、閉会中の継続審査となっております第41号議案から第43号議案までを一括議題といたします。

これより委員長の報告を求めます。

決算審査特別委員長、井ノ口憲治君。

○決算審査特別委員長（井ノ口憲治君） 決算審査特別委員長報告をいたします。

去る10月14日、決算審査特別委員会を開会し、継続審査となっております決算議案3件の審査を終了いたしましたので、その結果を報告いたします。

第41号議案、令和3年度豊後高田市歳入歳出決算の認定について、第42号議案、令和3年度豊後高田市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について並びに第43号議案、令和3年度豊後高田市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定についてを一括議題とし、審査を行いました。

審査の中で、1名の委員から第41号議案について質疑が出されました。

その主な質疑の内容につきましては、移住・定住者対策事業について、高齢者対策事業について、ねぎ産出額100億円プロジェクト推進事業について、農業水利防災事業について、夷地区観光拠点整備事業についてなどです。

執行部からは、各質疑に対し詳しく説明がありました。

第41号議案については、反対の討論がありました。

審査の結果、第41号議案については、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決しました。

第42号議案及び第43号議案については、全員異議なく、認定すべきものと決しました。

以上で、決算審査特別委員会審査結果の報告を終わります。

○議長（土谷信也君） 以上で、委員長の報告を終わります。

これより、ただいまの委員長の報告に対する質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（土谷信也君） 質疑なしと認め、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

16番、大石忠昭君

○16番（大石忠昭君） 皆さん、おはようございます。日本共産党の大石忠昭でございます。私は、第41号議案、決算認定議案に対して反対討論を行います。

最初は、一般会計についてです。

市民の利益になる事業は、当然賛成でありますけれども、同意できない事業がありますのでその点指摘をし、反対討論をしたいと思うんです。

1つは、市長が2期目に就任した後に、議会には事前説明が全くないまま、ちょうど1年前、昨年の12月議会に突然提案された真玉海岸誘客促進施設整備事業名目での実施設計の予算が提案され、承認された件についてです。

真玉海岸は、全長が1.5キロメートルの海岸で干潟時には、沖合約500メートルにわたって、雄大な干潟が広がります。干満の差が激しくて特に干潮時間と日没時間が重なる日、その前後3日ほどで、まあ天気の変化がありますが、天気の良い日には、沈む夕日が干潟の水面に反射をして刻一刻と変わる夕日と干潟が織り成す自然の幻想的な風景、まさに絶景が鑑賞できます。私は、4億円を超える国民の税金を使って、新たな箱物施設を造らなくても真玉海岸が観光客にあの雄大な自然を楽しんでいただくことができると思っています。

同じ箱物公共施設を造るといふならば、私は何

度もこの場で提案しておりますように、桂川より南側の市街地は、本当に津波とか豪雨に襲われたときには、避難場所がない、いわゆる市長が来縄に住んでおりますが、市長の周辺、来縄にですね、何らかの公共施設を造るということのほうが市民のために急がれることではないかと思う訳であります。

真玉海岸に先ほども言いましたように、4億円を超える税金をつぎ込んでですね、箱物を造らなくても雄大な自然を楽しむことはできます。最近電柱の移転も行われまして、今、高い位置から最高の景色が、なお見れるようになりました。その点はもう本当にありがたいことなんです。よってですね、この真玉海岸の箱物建設に関連する決算ですので、反対いたします。

あと、なるべく簡単にいきたいと思います。

2つ目は、消防の指令業務が、大分県一本化、全国47都道府県で大分県が初なんです。この事業に対する議論は、多々やってきましたので、もう今日は、この決算がありますので、反対いたします。

それから同和事業に関する予算についても、同和関連の予算はもう執行されております、収支しておりますのでね、反対いたします。

それからもう1つ、マイナンバーの推進に関する事業決算についても反対いたします。

次は、国民健康保険の特別会計の決算についてであります。

ご承知のように、この国保の被保険者は、退職をした年金生活者や、あるいは、農家や商売などの事業主であり全体的に所得の低い方で、国保税が重すぎるという構造的な問題があります。

私ども今、市民アンケートに取り組んでおりますけども、多くの方から、国保税が高すぎる、何とかしてくれと切実な声が寄せられています。私は、この国保の財政運営が市と県の共同運営に変わった後もですね、何とか高すぎる国保税を引き下げようと何度もこの場で議論をしまりました。

特に今回、今、審議しております議案は、昨年度の国保会計の決算なんです。昨年の国保税の額を決めるのは、3月議会なんです。昨年の3月議会。それを前にして、豊後高田の国保税は、所得割が、均等割、平等割が幾らという試算をですね、県のほうが、これまでの豊後高田市民の医療費の状況あるいは所得の状況など、いろいろ計算をしてですね、こういうになるよということを示されました。それは、県の試算ではですね、豊後高田市の国保税

が前年の試算に比べて、1人当たりで8,337円引き下げができますよということが、市に示されました。前年の試算に比べたら、6.81%の引き下げなんです。私は、去年の3月議会でこのこともいろいろ意見を述べて、何とかこれだけ市民が高すぎて困ってるんだから、引き下げようじゃないかと議論しましたけど、まあ据置きということになりました。その結果の決算を皆さん、どう見るかなんです。いいですか。

高すぎて国保税を払いたくても払えないということですね、もう徴収する見込みがないということで、チャラにした、いわゆる不能欠損にした額が、772万円なんです。772万円を不能欠損、チャラにしてもですね、さらに国保の滞納金として残ったのが、約9,700万円です。それでもですね、決算は黒字なんです。高田の国保会計の黒字は、実質収支は7,184万円です。これも国保に加入している世帯で私、計算してみましたら1世帯当たり2万円になるんですね。2万円黒字を出してるんですよ。だから、このことは昨年据置きじゃなくて、県のほうがこれだけ下げられますよという指標を出したので、これはあくまでも参考なんですけど、参考にして、やっぱり適正な引下げをすべき。

特に豊後高田の場合は、国保税というのは3つから成り立っているんですけど、1つの医療費分については、桁違いに、大分県の中では、豊後高田が一番高いんです。いわゆる医療費分と介護分と後期高齢者分という3種類あって、それを合わせて国保税というんですけどね。当然、引き下げるべきだったんです。大分県下調べてみましたら、14市の中で昨年度引き下げたのが、6市あります。国東市にしても別府市にしてもですね、全世帯分が国保税が下がりました。豊後高田は下げなかったんです。そのためこういう2万円の黒字だけじゃありません。その黒字分をため込んでいきますので、今現在、この決算の時点で、国保会計にため込んでいる基金は、2億2,700万円になります、決算の時点ですよ。それは、国保に加入している1世帯当たりになりましたら、7万円になるんです。私は、今のコロナ禍の下、また、物価高が急速に襲い掛かりまして大変でしょ、今の背を渡すためには、今、引き下げるべきだという議論をしてきましたけど、残念ながら、昨年引き下げないためにこういう決算になっておりますので、私は、反対します。

来年度こそ、3月議会に提案されますのでね、慎

12月5日

重に審議をしてもらって、基金の一部も取り壊してですね、全世帯が、国保税が下げられるような条例改定案を提案してもらおうことを市長に強く要求しまして、この国保特別会計の決算に反対討論とします。

次は、後期高齢者医療の特別会計の決算についてですが、これも毎回述べておりますように、後期高齢者医療制度というのは、同じ日本人でありながら75歳以上になったら、高齢者だけ特別に切り離されて医療が差別される制度でありました。高齢者の負担が重すぎると全国的に批判が高まって政府のほうも一時、特例を設けて軽減措置をしましたが、この決算の年には、もう軽減制度は全部廃止されましたのでね、お年寄りにとっては、大変重たい負担になりました。そういう決算でありますので、承認できません。

岸田政権は、新聞報道では、また……今年は、保険料が大分県は、全国6番目に高い保険料に上がりましたが、この決算ですのね、決算では、今の言うた問題点。しかし、今年の10月からは、75歳以上の後期高齢者は、所得のある方については、医療費の窓口負担が2倍になりました。それでですね、もう大変なんですけど、ぜひ佐々木市長に要望したいのはね、何とか政治力を発揮をして、この医療費値上げ施策を撤回するようにね、頑張ってもらいたいと、負担軽減に努力してもらいたいということを述べて討論といたします。

もうあと1つだけです。介護保険の特別会計についてです。

介護保険制度が始まって22年経ちました。昨年は8期の事業計画が議論をされて、それに基づいて介護保険料は決定されましたけども、ご承知のように昨年3月議会で豊後高田の場合は、基準額が月額30円、年額で360円の値上げでした。私もその時に僅か30円でも値上げを抑えるべきじゃないかと議論をしましたけどね、残念ながらこのままでいくということになりましてね、その結果どうなったと思いますか、決算ではですね、実質収支が3,778万円の黒字になりました。1人当たりにしたら、約4,400円の黒字なんです。22年間を振り返ってみましたがね、佐々木市長になってから2回値上げをしたんです、連続値上げね。これだけは、やっぱりね、いろんな点で佐々木市長努力していただいとるけど、この点についてはね、やっぱりこの決算の時には、引き上げるべきじゃなかったと思うんですけどね。

今でもね全体的に見たら、大分県の中で高田の介

護保険料はね、低い方でね、私ども頑張ってるがんあったなと思っておりますけどね。それで、もう終わりますけども、今度の決算は、値上げする必要がないのに僅か360円ですけどね、基準額では。値上げに伴う決算ですので反対をいたします。

なお、政府は、今、介護サービスを、今は1割なんですけども、2割に引き上げることが検討されておりますのでね、何とか市長も政治力を発揮して、国庫負担を介護会計にも特別増やしてもらってですね、住民の負担が軽減できるように努力をさせていただきたいということを要望しまして、決算認定議案に反対討論といたします。

皆様のご協力をお願いいたします。ありがとうございました。

○議長(土谷信也君) ほかに討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土谷信也君) これにて討論を終結いたします。

ただいまから採決に入ります。

お諮りいたします。

お手元に配付してあります採決表の一括採決するものうち、反対のありました第41号議案を除く、第42号議案及び第43号議案は、委員長の報告のとおり認定することにご異議ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○議長(土谷信也君) ご異議なしと認めます。

よって、採決表の一括採決するものうち、反対のありました第41号議案を除く、第42号議案及び第43号議案は、委員長の報告のとおり認定することに決定いたしました。

次に、反対のありました第41号議案について起立により採決いたします。

議席に設置されている可否いずれかのボタンを押した後に、問題を可とする者は起立をしてください。

本案は、委員長の報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(土谷信也君) 起立多数であります。

よって、第41号議案は、委員長の報告のとおり認定することに決しました。

○議長(土谷信也君) 日程第4、第45号議案から第62号議案まで及び第6号報告を一括議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

市長、佐々木敏夫君。

○市長（佐々木敏夫君） 本日ここに、第4回定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

提案理由の説明に先立ち、市政に関する諸般の報告を申し上げます。

まずは、観光振興についてのうれしいご報告をさせていただきます。

観光庁が後援するNPO法人地域活性化支援センター・恋人の聖地観光協会主催の第3回恋人の聖地地域活性化大賞におきまして、真玉地域の人道トンネルを活用した恋叶トンネルの取組が、審査員賞を受賞いたしました。

この賞は、恋人の聖地として認定された全国139か所の中から特徴ある取組の成功事例として表彰されたものであります。昨年の長崎鼻パーフェクトビーチの観光庁長官賞の受賞に続き、2年連続となる受賞でございます。

今回の受賞は、既存の人道トンネルを活用し、地域の小学校、中学校、高田高校の児童・生徒や県内の大学生、一般の有志の方々により描かれたアート作品が、地域資源の付加価値を高め、地域活性化に大きく寄与したと、高い評価をいただいたものでございます。

引き続き、昭和の町から長崎鼻を結ぶ恋叶ロード全体の魅力を高め、皆様から愛され、お越しいただけるよう地域の特色を活かした観光振興に努めてまいりたいと考えております。

次に、本市を代表する伝統行事などの開催でございます。

全国的な新型コロナウイルス感染拡大の影響により、今年度も、春の仏の里・昭和の町豊後高田五月祭、夏の長崎鼻サマーフェスティバルや観光盆踊り大会が中止されてきましたが、感染状況の落ち着きにより、秋の代表的なイベントであるよっちょくれ祭りや900年以上の伝統を誇る若宮八幡神社秋季大祭・裸祭りを3年振りに、盛大に開催することができました。

当日は、どちらも好天に恵まれ、多くの方にお越しいただき、久しぶりに活気と賑わいを取り戻すことができたところでございます。

開催にあたりまして、関係者の皆様におかれましては、感染症対策など、これまでにご尽力をいただいたことに改めて感謝を申し上げます。

また、昭和の町の恒例行事となっております夜台市では、10月、11月のいずれも若い家族連れの方を

中心に大盛況となり、子どもたちの賑わう姿に元気をもらったところでございます。

今後とも、この勢いが続くように、切れ目なく多彩な誘客促進を図ってまいりたいと考えております。

次に、人口増・定住人口の増加を図るために整備いたしました定住促進無償宅地の分譲の状況について、ご報告いたします。

現在、真玉住宅団地、都甲住宅団地の全42区画のうち、28区画の譲渡を完了いたしております。その他、3区画が仮譲渡の契約中であるほか、6区画の予約申込みをいただいております。残すは、真玉住宅団地の1区画と都甲住宅団地の4区画のみとなっております。団地内には、既に多くの家が建ち並び、子育て世代の若い方々が新しい生活を始められており、子どもたちの笑い声が聞こえてくるなど、大変うれしく思っているところでございます。

引き続き、残り5区画の早期分譲に向け、取り組んでまいります。

また、8年連続で社会増を達成している本市の人口動態につきましては、11月末時点におきまして、転入者が転出者を上回る132人の社会増となっております。今年も残すところ僅かとなりますが、9年連続で社会増の達成が見込めるのではないかと、大いに期待しているところでございます。

次に、パートナーシップ宣誓制度についてでございます。

この制度は、性別等に関わりなく、お互いを人生のパートナーとして、お互いに協力し、共同生活を行うことを約束した二人が、安心して暮らせることを目的とした制度でございます。

これまで導入に向け検討を重ねてまいり、この度、人権擁護審議会から答申をいただきましたので、多様な価値観と生き方を認め合う共生社会の実現を目指し、来年4月1日から導入してまいりたいと考えております。

本制度をきっかけに、あらゆる差別をなくす取組を広げていきながら、今後も全ての人に優しいまちづくりを目指していきたいと考えているところでございます。

次に、11月13日に秋篠宮皇嗣同妃両殿下がご臨席され、大分市で開催されました第45回全国育樹祭の式典におきまして、本市からは、千部もみじ村の取組が国土緑化推進機構会長賞を受賞いたしました。

この賞は、里山づくり活動などを通して過疎化した地域に元気を取り戻そうと、継続して取り組んで

12月5日

きた植樹活動や森林体験学習活動などが、地域の活性化や青少年の育成に大きく貢献したことを高く評価されたものでございます。

その他にも全国育樹祭大分県緑化等功労者として、緑化活動にご尽力された功績により、市内の個人1名、3団体の皆様が表彰をいただいております。

今後も、次世代につながる森林づくりの活動に、引き続き、頑張ってくださいことを期待しております。

次に、スポーツ振興についてでございます。

10月に開催されました、文部科学大臣杯第14回全日本春季軟式野球大会大分県大会において、高田中学校・戴星学園軟式野球部が見事優勝し、来年3月に静岡県で行われる全国大会に大分県代表として出場いたします。

また、第70回県中学校駅伝競争大会では、高田中学校男子陸上部が準優勝に輝き、12月2日、3日に沖縄県で開催されました九州大会に出場し、大分県代表として、素晴らしい健闘を見せてくれました。

こうした子どもたちの活躍は非常に喜ばしく、今後も大いに活躍できるよう市民の皆様とともに応援したいと思っております。

次に、新型コロナウイルス感染症についてでございます。

大分県においては、9月26日から全国一律で全数把握の見直しに伴い、65歳未満で重症化リスクの低い方などは、発生届の対象外となりました。これを受けまして、9月27日からの市内の陽性者数の公表につきましては、65歳以上の方を中心とした重症化リスクの高い陽性者の人数のみ公表されているところでございます。

また、急激な感染拡大となりました第7波は、10月に入りまして落ち着きを見せようとしておりましたが、厚生労働省や県の発表によりますと新規感染者数は再び増加傾向にあり、全国的には第8波に入ったと言われるなど警戒感が示されております。さらには、今後の見通しとして、この夏のような感染拡大に繋がる可能性と季節性インフルエンザとの同時流行を含め、注意が必要とされているところでございます。

市民の皆様には、引き続き、小まめな換気、マスクの適切な着用、3密の回避といった基本的な感染対策の徹底をお願いするとともに、ワクチン接種を希望される方におかれましては、速やかに接種していただきますようお願いいたします。

また、コロナ禍における物価高騰などにより、市民生活や経済活動に対する影響は依然として厳しい状況が続いております。引き続き、感染拡大防止と同時に、暮らしを支え、地域経済を維持していく取組を行っていく必要があると考えているところでございます。

それでは、本定例会に提案いたしました議案等について、その大要をご説明申し上げます。

第45号議案の令和4年度一般会計補正予算（第5号）につきましては、4億5,325万7,000円の増額で、補正後の予算総額は、190億2,932万5,000円になります。

新型コロナウイルス感染症及び物価高騰対策に関連する補正予算といたしましては、総務費では、路線バスや市民乗合タクシーの運行支援経費を計上しております。

民生費では、国の住民税非課税世帯に対する5万円の緊急支援給付金の対象とならない住民税所得割非課税世帯に対しても、市独自で5万円を支給する物価高騰対策特別支援金事業費、福祉施設や高齢者福祉サービス事業所などへの物価高騰対策支援経費を計上しております。

農林水産業費では、ソバ・ハトムギの乾燥調製設備整備に係る支援経費や漁業者への燃料高騰支援経費を計上しております。

商工費では、本年度の第2弾として発行総額を3億9,000万円に増額する地域消費喚起プレミアム商品券事業費、スマホ決済によるキャンペーンにより市内飲食店の利用を促進するキャッシュレス化推進事業費、売上の回復が厳しい事業者を対象とした中小事業者事業継続支援事業費及び市内宿泊施設の利用促進を図る、みんなで応援！宿泊再生事業費を計上しております。

通常分といたしましては、総務費に、燃料費高騰により不足する庁舎の電気料や過年度国県支出金精算償還金などを計上しております。

衛生費では、燃料費高騰により不足するごみ清掃工場の電気料を計上しております。

農林水産業費では、農山漁村振興交付金を活用した田染荘展望所の安全対策経費、台風14号で被災したハウスや畜舎などの復旧を支援する経費、県営土地改良事業に係る負担金などを計上しております。

商工費では、昭和の町の景観整備を前倒しして実施する都市構造再編集中央支援事業費を計上しております。

教育費では、高田小学校の施設整備に伴う測量設計費及びキラリいろ幼稚園の保育室を拡張する改修設計費などを計上しております。

このほか、各費目に人事異動等に伴う人件費の補正を計上しております。また、地域消費喚起プレミアム商品券事業につきまして、年度内の完了が困難なことから、繰越明許費を設定するとともに、市立図書館などの公の施設に係る指定管理料について、債務負担行為予算を計上しております。

第46号議案の令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、令和3年度決算剰余金の基金法定積立及び過年度分の保険給付費等交付金に係る精算償還金を計上しております。6,949万2,000円の増額で、補正後の予算総額は、31億326万5,000円となります。

第47号議案の令和4年度介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、令和3年度決算剰余金の基金法定積立及び過年度分の国県支出金精算償還金などを計上しており、3,661万4,000円の増額で、補正後の予算総額は、28億7,846万1,000円となります。

第48号議案の令和4年度下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、人事異動等による人件費の補正を計上しております。

第6号報告の令和4年度一般会計補正予算（第4号）につきましては、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、台風14号で被災した農林水産施設及び公共土木施設の災害復旧に係る予算の専決処分をしたので、同条第3項の規定により報告し、承認を求めらるるものでございます。

次に、予算以外の議案についてでございますが、各議案の末尾に提案理由を付しておりますので、主なものについてのみ、ご説明申し上げます。

第49号議案から第54号議案までにつきましては、公の施設の指定管理者の指定について、議決を求めらるるものでございます。

第55号議案の財産の取得につきましては、高田小学校施設整備事業用地の取得について、議決を求めらるるものでございます。

第56号議案の豊後高田市土地開発公社の解散につきましては、公有地の拡大の推進に関する法律第22条第1項の規定により、大分県知事に解散の認可申請を行うため、議会の議決を求めらるるものでございます。

第57号議案の豊後高田市個人情報保護法施行条例

の制定につきましては、個人情報保護に関する法律の一部改正に伴い、所要の規定の整備を行うものでございます。

第58号議案の豊後高田市職員の給与に関する条例等の一部改正につきましては、国家公務員の給与に関する人事院勧告及び大分県人事委員会勧告等を勘案し、一般職職員の給与並びに常勤特別職及び市議会議員の期末手当を改定するものでございます。

第59号議案の豊後高田市職員の定年引上げ等に伴う関係条例の整備につきましては、地方公務員法等の一部改正に伴い、職員の定年年齢引上げ等について、所要の規定の整備を行うものでございます。

第61号議案の豊後高田市真玉海岸観光交流拠点施設条例の制定につきましては、日本の夕陽百選に選定されている真玉海岸の魅力向上により、年間を通じた交流人口の増加、地域コミュニティ育成の推進などを図るため、新たに真玉海岸観光交流拠点施設を設置するものでございます。

以上で、本定例会に提出いたしました議案等について説明を終わりますが、何とぞ慎重審議の上、ご協賛賜りますようお願い申し上げます。

○議長（土谷信也君） 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

明日から12月8日まで休会いたします。

次の本会議は、12月9日午前10時に再開し、議案質疑を行います。

なお、議案質疑の通告は、明日正午までに提出願います。

本日は、これにて散会いたします。

午前10時50分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

豊後高田市議会議長 土谷 信也

豊後高田市議会議員 河野 正春

豊後高田市議会議員 菅 健雄